

# 第1学年 生活科学習活動案

日 時 平成18年10月31日(火) 5校時

場 所 多目的教室及び校庭

児 童 1年2組 男子17名 女子16名 計33名

指導者 島 山 隆 一

すこやかサポート 佐々木 恵

1 単元名 「すいすい さわやか きもちがいいね」

2 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領の第1学年及び第2学年の内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分達の生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」、(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物をつかたりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする」に基づき、エネルギー環境学習の内容を踏まえ、設定したものである。

本単元は、4つの小単元で構成されている。

第1小単元「アサガオのつるやたね」では、自分が育てたアサガオから種を取り、その使い道を考えたり、つるを使って遊びを工夫したりする。ここでは、つるなどを使った遊びの活動を取り入れることにより植物を育てた喜びがますます高まるようにしていく。

第2小単元「秋のはら」では、秋の野原や自然、虫の様子を観察し、季節の移り変わりを体験する。動植物が自然の中でどのような様子なのか、春や夏の季節との比較をしながら気付くことを大切にしていく。

第3小単元「サツマイモのしゅうかく」では、サツマイモを収穫し、簡単な料理をして収穫を祝う活動を行う。自分達で育ててきたサツマイモの生長の様子や世話活動の様子を振り返るとともに、収穫の喜びを味わわせ、次の学年での栽培活動への意欲付けをしたい。

本小単元「風となかよし」は、風に着目し風で遊ぶ活動をする第4小単元である。児童は1学期に水と遊ぶ活動を体験し、夏には太陽の下で自然と遊ぶ活動をしてきた。季節が秋に移り変わったこの時期、自然とかがわって活動するにはよい機会である。そこで、ここでは、風で遊ぶ活動を十分にさせる中で、エネルギー環境学習の視点として風のエネルギーについて気付かせたいと考え、設定した。

(2) 児童の実態

児童は、生活科の学習が好きである。その理由としては、「いろいろな物を作って遊んだり、友達と一緒に遊んだりできるから」があげられている。自分の思いに向かって活動を行っている時の児童の表情は生き生きし、自分なりに活動を工夫したり、友達のやり方に学んだりする姿が見受けられる。しかし、一人一人の児童についてくわしく見てみると、自分の活動には熱中するが、活動を振り返って自分の活動のよさや工夫に気付かなかったり、友達のよいところに気付かなかったり、活動が終わるとそれで満足してしまったり、活動に広がりや深まりが見られなかった

りする児童も多い。

風に対するイメージや風を利用した遊びについての児童のアンケート結果によると、「風に当たるとどんな感じがするか」という問いには、「気持ちいい感じ」と「涼しい感じ」と答えた児童が約半数ずつである。風での遊びの経験は、たこ揚げや紙飛行機は約半数の児童が経験しているが、あまり遊んだことがないと答えた児童も数名いる。このことから、風に対して心地よいという印象を持ってはいるものの、風で遊ぶ、あるいは、風で動く物を使った遊びの経験はあまり豊富とはいえないのが実態である。

### (3) 指導にあたって

本小単元では、児童の身近にある素材を使って、風で動くおもちゃを自分で作って遊ぶことをとおして、工夫して遊ぶ物を作る活動の楽しさや、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わわせる。そして、その活動から、風という自然環境にも興味をもたせていく。

つかむ段階では、はじめに風で遊ぶ活動をし、風で動くおもちゃを作りたいという気持ちをもたせる。

かかわる段階では、身近な材料を使って風で動くおもちゃを作る。ここでは、いくつかのおもちゃを提示することによって、活動に対する意欲を高めていく。また、児童の願いをできるだけ実現させるため、材料の組み合わせ方や技術的な支援をしていく。自分が作っているおもちゃがよりよい物になるように、動きを試しながら作らせたり、話し合いによる振り返り活動を設定したりして、活動が意欲的に進められるように配慮する。そして、できあがったおもちゃで遊ぶ活動をとおして楽しさを十分味わわせる。

まとめる段階では、自分のおもちゃや友達のおもちゃのよい点や工夫について認め合わせるとともに、動力源としての風の力についてもふれ、環境にも目を向けさせる。

単元全体をとおして、サポート教員は支援を要する児童を中心に援助にあたるが、振り返りの段階においては、児童の活動の長所の紹介を行う。また、主体的に学ぶ児童を育てるために、体験や活動を繰り返し経験させる中でよさや工夫を意識させるとともに、振り返り活動の場を設定したり、学習のねらいに即した行動や発言を取り上げたりするなどして、児童が主体的に物事や環境にかかわっていく力を育てていきたい。

### (4) エネルギー環境学習の視点

本校のエネルギー環境学習における低学年の学習は、「自然エネルギーの体感」というテーマで進められている。これは、自然や身近にあるものから五感を使ってエネルギーや環境について気付きをもち、さらに身近にある物を大切にする行動・実践に結び付けようとするものである。

本小単元では、発達段階や時季を考慮し、この時期の1年生の児童が直接触れて遊びながら身近に感じるができる自然エネルギーとして「風」を取り上げた。

児童は、暑い日に風にあたると心地よく感じたり、寒い日には更に寒さを感じたりすることを経験上知っている。また、風によって物が動いたり飛ばされたりすることも知っている。そこで、本小単元では、児童が遊びをとおして自分なりに風を感じ、風に親しむことにより、風の力に気付き、自然エネルギーに関心をもつことができるようにする。

## (5) 研究仮説とのかかわり

### ア 仮説 について

#### ・風で遊ぶ活動

低学年の児童にとっては、風と直接かかわる体験が必要と考えた。風が吹いている時に物が動いたり浮かんだりする様子を観察させたり、身の回りの紙やビニールなどを飛ばしたりするなどして、風の実在を認識させる。

#### ・風で動くおもちゃを作って遊ぶ活動

おもちゃ作りは、児童にとって興味をもちながら楽しんで行える活動である。おもちゃを作ったり動きを確かめたりする中で、自分なりに工夫を加えたり、友達の作ったおもちゃを参考にしよういところを取り入れてみたり、一緒に遊んでみたりと、様々なかかわりの中から一緒に遊ぶ楽しさと風の力について体感させる。

### イ 仮説 について

#### ・個人で活動する時間とグループ活動

課題意識を高めるために、自分の思いを生かして活動する時間と、作りたいおもちゃ別のグループで児童相互に教え合ったり助け合ったりすることができる時間とを組み合わせ設定していく。

#### ・材料、修理コーナー

課題を追究するために、遊びながら、いつでも壊れたところを修理したり、もっと工夫を加えたりすることができるように、おもちゃ作りに必要な材料や簡単な修理が行えるコーナーを設けておく。また、個人の発見や工夫を友達に広めることができるようにするために、発見したことや工夫したことをまとめて板書したり、サポート教員からよい気づきや工夫について紹介してもらったりする。

#### ・サポート教員との TT 指導

サポート教員と、援助の仕方について連携を図り、安全面に配慮しながら、児童一人一人が伸び伸び活動できるように指導支援していく。

## 3 単元の目標

公園や学校の周りで秋を探したり調べたりするとともに、友達と協力していろいろなものを作ったり、作ったもので遊んだりして、自然の変化に関心をもつことができるようにする。

### 生活への関心・意欲・態度

- ・秋を探したり調べたりする活動をとおして季節の変化に関心をもつ。

### 活動や体験についての思考・表現

- ・夏と比べながら秋の自然の様子をとらえるとともに、葉や実を使っているいろいろなものを工夫して作る。
- ・育てた植物の生長のようすや、収穫の喜びを表現する。
- ・風で動くおもちゃを、よりよく動くように工夫して作る。

### 身近な環境や自分についての気づき

- ・秋の樹木や草花、虫などが夏の頃とは違ってきたことや、それらをつかって遊ぶことの楽しさに気づく。

・遊びをとおして，風で動くおもちゃの仕組みや，友達のおもちゃのよさと工夫に気付く。

#### 4 指導計画と評価規準

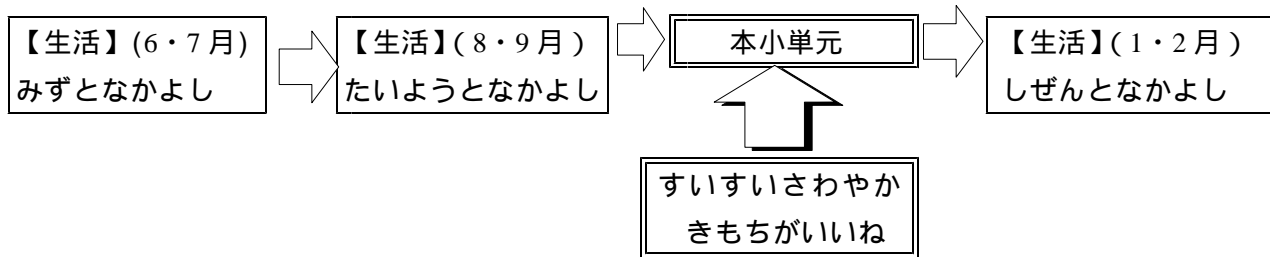
##### (1) 単元指導計画(23時間)

小単元(時数)	主な学習活動
あさがおのつるやたね (5)	・アサガオの種を観察したり，種の使い道について考えたりする。 ・つるを使った遊びを考え，遊ぶ。
秋の野原 (7)	・秋の野原や自然の様子を調べたり，草花を使って遊んだりする。
おいもの収穫と料理 (5)	・サツマイモの収穫をし，簡単な料理をする。 ・サツマイモの育ち方をまとめる。
風となかよし (6)	・風を見つける遊びをしたり，風で動くおもちゃを作ったりして友達と仲良く遊ぶ。

##### (2) 本小単元の指導計画と評価規準(6時間) 体験的な活動

段階	時	小単元 主な学習活動	生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
つかむ	1	風となかよし ・風を見つける。(1)  風と触れ合う活動	進んで風に触れ合おうとしている。		風を体感したり，風で物が動く様子を見たりしながら，風の存在に気付く。
かかわる	4	風となかよし ・風で遊ぶ計画をたてる。(1)	風を利用したおもちゃを考えようとしている。	風を利用したおもちゃを考えることができる。	
		・風で動くおもちゃを作る。(1) 本時 風で動くおもちゃ作り	おもちゃが動くおもしろさや不思議さに関心をもち，おもちゃを作ろうとしている。	身近な材料を使って，風で動くおもちゃを作ることができる。	
		・よりよく動くように工夫する。(1) 風で動くおもちゃ作り		風で動くおもちゃを作ったり，遊び方を考えたり，工夫したりすることができる。	風をたくさん受ける仕組みや楽しく遊ぶ工夫に気付く。
		・みんなで遊ぶ。(1) 風で動くおもちゃで遊ぶ活動	自分や友達が作ったおもちゃを使って，楽しく遊ぼうとしている。		遊びをとおして友達のおもちゃのよさや工夫に気付く。
まとめる	1	風となかよし ・遊んだことをまとめる。(1)		風で遊ぶ活動をとおして，気付いたことを表現することができる。	

## 5 学習の関連



## 6 本時の指導

### (1) ねらい

- ・おもちゃが動くおもしろさや不思議さに関心を持ち、おもちゃを作ろうとする。  
(生活への関心・意欲・態度)
- ・身近な材料を使って、風で動くおもちゃを作ることができる。  
(活動や体験についての思考・表現)

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への手立て
生活への関心・意欲・態度	おもちゃが動くおもしろさや不思議さに関心を持ち、よく動くように考えながらおもちゃを作ろうとしている。	おもちゃが動くおもしろさや不思議さに関心を持ち、おもちゃを作ろうとしている。	簡単でもいいから児童が自分で作ることができるよう、一緒に作る活動をしたり、友達と一緒に作れるように声かけをしたりしていく。
活動や体験についての思考・表現	身近な材料を使って、風でよく動くように工夫しながらおもちゃを作ることができる。	身近な材料を使って、風で動くおもちゃを作ることができる。	児童の計画カードから、技術的に製作が困難と思われる児童については、児童が自分で作れるようヒントを出したり作り方をアドバイスしたりするなどの支援をしていく。

(3) 展開

段階	学習活動	教師の指導支援と評価( )	教材・資料
つ か む  5 分	1 前時を想起し，本時の活動内容を知る。  2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             かぜでうごくおもちゃをつくらう           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動内容を知ることによって，前時に立てた自分の計画を実現しようという意欲をもたせる。</li> </ul>	紙板書
か か わ る  30 分	3 活動の見通しをもつ。  4 グループに分かれておもちゃ作りをする。 (作りたいおもちゃの種類別にグループを設定する) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりで</li> <li>・友達と一緒に</li> <li>・交換し合って</li> <li>・もっとよく動くには(風を使って動きをためしながら)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の活動の流れや約束などを確認し，活動の見通しがもてるようにする。</li> <li>・担任 中心になって活動を進めるが，活動全体を見回りながらサポートと連携をとって児童の支援に当たる。</li> <li>・サポート 製作するのに支援が必要な児童を中心に援助する。</li> <li>・うまく作れなかったり，活動が停滞したりしている児童には，声をかけたり，一緒に活動したりして，意欲が持続するよう援助する。</li> <li>・友達と教え合ったり，動きを試したりしながら，よく動くように近づけるようにさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             おもちゃが動くおもしろさや不思議さに関心もち，おもちゃを作ろうとしている。              身近な材料を使って，風で動くおもちゃを作ることができる。           </div>	計画カード (設計図)  各種工作材料 修理道具 うちわ 扇風機 (送風機)
ま と め る  10 分	5 活動を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想発表</li> </ul> 6 次時の活動内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分への気付きや友達への気付き，遊びへの気付きに触れた発言を価値付ける。</li> <li>・次時の学習では更によく動くように工夫を加えたり，友達のおよさを取り入れたりすることを知らせ，感想発表や努力の様子をもとに意欲付けをする。</li> </ul>	